

博士学位論文 審査結果の要旨

芝浦工業大学大学院 理工学研究科 博士（後期）課程
博士学位論文審査委員会

主 査 中村 仁

審査委員 増田 幸宏

審査委員 鈴木 俊治

審査委員 磐田 朋子

審査委員 村山 顕人

*審査委員

氏 名	Yosi Septa Mutiarni
論文題目	The Transformative Capacity of Disaster Awareness for Governing Resilient Community in Merapi Volcano, Indonesia (インドネシア・ムラピ火山に対する防災意識が及ぼすコミュニティの転換力)
〔論文審査の要旨〕 本論文の目的は、インドネシア・ムラピ火山を事例対象として、火山噴火に対する防災意識向上をもたらす各種の減災プログラム（事業、活動など）が、コミュニティのレジリエンスを長期的に高める転換力（Transformative Capacity）においてどのような意味を持つのか、どのような可能性と課題があるのかを明らかにすることである。文献調査より、Transformative Capacity を評価する4つの視点（コミュニティ参加と地域住民中心のプログラム設計、共創と協働、内省と学習経験にもとづくアプローチ、内在的なイノベーション）を明確にしたうえで、ムラピ火山噴火に対する8つの減災プログラムを対象として、Transformative Capacity をもたらす可能性と課題を分析している。さらに、個人属性の違いが減災プログラム通じたコミュニティ・レジリエンスに及ぼす影響を、ムラピ火山周辺住民に対するアンケート調査をもとに分析している。 結論として、既存の減災プログラムは防災意識向上とともに Transformative Capacity をもたらす要素を含んでおり、Transformative Capacity を評価する4つの視点を活用してさらにプログラムを改善することが可能であること、また、個人属性として特に学校教育と日常の経済活動が、減災プログラム通じたコミュニティ・レジリエンスを高める効果をもたらす可能性があり、コミュニティレベルでの人材育成、地域経済の発展と連携して災害リスク管理（ガバナンス）を進めることが重要であることを明らかにしている。 最終審査は、2022年8月10日（水）午前9時～11時にオンラインで実施した。プレゼンテーションと質疑応答の結果、分析方法、分析結果の考察などについてやや不明瞭な点があるものの論文の目的に対して十分な調査と分析がなされており、合格に値する成果を挙げていると評価された。 なお、博士課程在籍中に公刊された研究業績として、国際ジャーナル論文が3編（いずれも筆頭著者）、審査付き国際会議プロシーディングスが2編（いずれも筆頭著者）という実績を有している。 以上より、審査委員全員が「合格」と判定した。	